

令和7年10月8日  
北海道運輸局  
自動車技術安全部

## 車検前の適切な点検・整備へのご協力をお願いします！！

～ 再検査を減らし、スムーズな車検の実現に向けて ～

北海道運輸局では、管内の運輸支局に検査・登録手続きのために来庁される方々の“混雑解消”に向けて取り組んでいます。  
混雑の要因の一つである「車検時の不合格及び再検査状況」を調査した結果、皆さまのご協力もあり前年度から改善しておりますが、依然として北海道の不合格及び再検査の割合は、全国で最も高い水準が続いていますので、ご利用される皆さまに状況を広く理解していただき、より一層の受検前の適切な点検と整備の徹底を引き続きよろしくお願いいたします。

### 1. 調査概要

調査期間：令和4年度、令和5年度、令和6年度の年度毎

調査対象：各運輸支局へ車両を持ち込んで受検する継続検査

調査項目：受検車両台数、受検車両台数に対する不合格※1 割合及び再検査※2 割合

※1：不合格とは、検査受検したが不適合箇所があり、かつ車検を更新できなかったもの

※2：再検査とは、検査受検した際に不適合箇所があったもの

### 2. 調査結果

#### 【年度別 受検車両台数と不合格及び再検査割合】

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
受検車両台数	北海道：221,800台 全国：5,241,736台	北海道：220,055台 全国：5,158,216台	北海道：228,729台 全国：5,312,975台
不合格割合	北海道：3.4% 全国：1.6%	北海道：3.7% 全国：1.7%	北海道：3.2% 全国：1.8%
再検査割合	北海道：16.9% 全国：10.4%	北海道：17.4% 全国：10.7%	北海道：15.3% 全国：11.5%

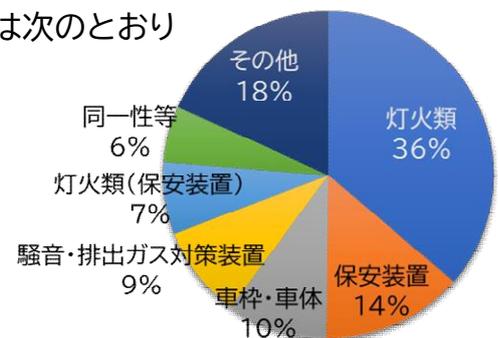
○ 北海道における受検車両台数に対する不合格及び再検査割合は、全国の各地方運輸局の中で最も高い水準であり、特に、不合格の割合は、全国平均の約2倍である

○ 令和6年度の北海道における再検査のうち多いものは次のとおり

※(独)自動車技術総合機構北海道検査部の調査による

- ・灯火類の不適合 再検査全体のうち約36%  
例)ヘッドライトの向きや明るさ等
- ・保安装置の不適合 再検査全体のうち約14%  
例)ウォッシュやクラクションの故障等
- ・車枠・車体の不適合 再検査全体のうち約10%  
例)車体表示なし、ボディの錆による腐食等

別紙を併せてご確認ください



令和6年度の再検査内訳

### 自動車点検整備推進運動



9月及び10月は自動車点検整備  
推進運動強化月間です

安全と環境保全には、点検・整備が必要です

お問い合わせ

自動車技術安全部

技術課 谷原

電話:011-290-2753

整備・保安課 山本

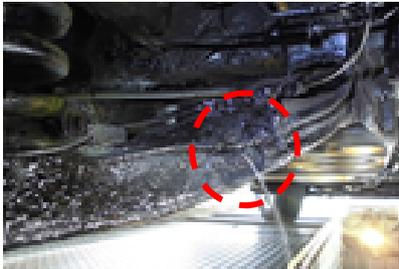
電話:011-290-2752

○再検査が多い項目の主な内容

項目	小項目	主な内容
灯火類	ヘッドライト フォグランプ スモール ブレーキ ハイマウントストップランプ ナンバー灯 ウインカー バックランプ 等	ヘッドライトの明るさや向き 球切れによる不点灯 取付け位置が適切ではない 不適切な補修(破損をテープで補修等)
保安装置	窓ガラス クラクション 非常信号用具(発煙筒) ワイパー・ウォッシャー	規定外標識、着色フィルム、吸盤 鳴らない、音色、大きさ 備え付けがなし ワイパーの損傷、ウォッシャーが出ない
車枠・車体	車枠・車体 回転部分 車体表示	錆による腐食 車体からタイヤが突出している 最大積載量の表示がない

ヘッドライト表面の曇り (明るさ不足)	窓ガラスへの吸盤貼付	錆による穴あき
		

○その他危険な例

ブレーキパイプの損傷による ブレーキ液漏れ	リーフスプリングの損傷(折 れ)	マフラーの損傷
		



「自動車点検整備推進運動」に関する情報や各種チラシ等はこちら

<https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha/tenkenseibi/tenken/t3/t3-1/>

